

製品名: WDR5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80866**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36.6kDa

抗原情報

遺伝子名	WDR5
別名	SWD3; BIG-3; WDR5
遺伝子 ID	11091.0
SwissProt ID	P61964
免疫原	大腸菌で発現したヒト WDR5 の精製された組み換え断片。

背景

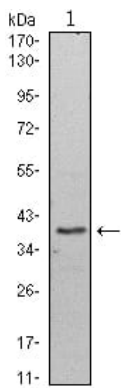
WD リpeatタンパク質 5 (WDR5、BMP-2 誘導遺伝子 3kb または BIG-3 と呼ばれる) は、WD-40 リpeatタンパク質ファミリーに属し、脊椎動物の発生、Hox 遺伝子の活性化、および H3K4 トリメチル化全般に必須である。WDR5 は、Trithorax (TRX) ヒ

ストンメチルトランスフェラーゼ複合体の保存されたサブユニットであり、ヒストン H3 のジメチル化 Lys4 (K4me2) に選択的に結合し、TRX による K4 トリメチル化を促進する。骨芽細胞、軟骨細胞、骨細胞、および骨髄間質細胞で発現する。WDR5 タンパク質は7つのWDリピートを含み、骨芽細胞の分化を促進する機能に関与している可能性がある。

研究分野

-

画像データ



Hela (1) 細胞溶解物に対する WDR5 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。